

■平成25年度第1回農業水利施設ストックマネジメント県推進会議開催

平成25年8月22日（木）に漁信基ビルにて、平成25年度第1回農業水利施設ストックマネジメント県推進会議が開催されました。今回は地方推進会議で実施予定である1次機能診断実施計画について各事務所担当から説明がありました。

その後に事業推進に向け、ストックマネジメント機能保全対策事業管理計画を基に今後の計画推進について県庁担当から説明がありました。

なお、今回の会議の内容につきましては各地方推進会議においても情報共有していくこととしております。



■平成25年度上半期の取組み

9月末時点の進捗状況は次のとおり実施しており、これまでは概ね計画どおりです。

- ・関係機関の連携による1次（簡易）機能診断を50施設で実施します。（年間目標）
（9月末実施状況は、9施設で実施中です。）
- ・県営基幹水利施設ストックマネジメント事業（対策工事）を4地区で実施します。（年間目標）
（9月末実施状況は、2施設で実施中です。）

■平成25年度下半期の取組み

- ・土地改良施設維持管理適正化事業において、施設の整備補修を実施します。
- ・施設管理者へストックマネジメント技術、リスク管理技術の習得を図る研修会を開催します。
- ・災害復旧事業を反映した農業水利施設ストックマネジメント台帳の更新を行います。

■土地改良施設機能診断事業（県単）：【県単機能診断】の紹介

土地改良施設機能診断事業（県単）：【県単機能診断】は、

- ・外観及び分解検査による劣化度合いの測定・評価
- ・施設診断カルテ及び整備補修年次計画の作成（必須）
- ・小規模な整備補修が実施可能なストックマネジメント事業です。

採択要件は、

- ・A=20ha以上 / 施設
- ・170万円以上 / 地区

負担割合【県30%、市町村30%、事業主体40%】

（市町村が30%以上助成することが条件となります。）

計画的に更新計画を立てていけば、有効な事業となりますので、詳細を知りたい方は、宮城県農林水産部農村整備課水利施設保全班までお問い合わせください。

*当事業で機能保全計画を作成し、団体営水利施設整備事業（地域農業水利施設保全型）：【地域ストマネ】を活用して、まとまった大規模な整備補修も可能です。



■ストックマネジメント事業推進キャラバン隊結成！！

平成20年8月に「みやぎ農業水利施設ストックマネジメント推進計画」を策定し、県内においても少しずつではありますが、ストックマネジメントの考えが浸透し始めております。

ストックマネジメント地方推進会議において、1次機能診断（簡易診断）、必要に応じて2次機能診断（詳細診断）を実施し、その結果を基に機能保全計画を策定しますが、対策工事にスムーズに移行していくことができていません。

現状を踏まえ、宮城県農村整備課施設管理指導専門監を隊長として、「ストックマネジメント事業推進キャラバン隊」を結成し、県内の市町村・土地改良区をまわり、引き続きストックマネジメントの重要性と10年、20年後を見据えた整備計画を基に市町村、土地改良区の予算措置をお願いするものです。

なお、同時にストックマネジメント台帳を更新し、最新の情報を提供していきます。

管内・日程（予定）

第1回	10月2週目	予備日	第2回	10月3週目	北部栗原管内
第3回	10月4週目	東部登米管内	第4回	11月1週目	東部石巻管内
第5回	11月2週目	仙台管内	第6回	11月3週目	大河原管内
第7回	11月4週目	北部大崎管内	第8回	11月5週目	予備日

*詳細につきましては調整中ですので、決まり次第追って連絡します。

■ストマネ豆知識



左の写真は何か分かりますか？

扇風機の羽根のように見えますが、これは立軸ポンプの羽根を右写真のように吸水側から覗いたところでは、立軸ポンプは下から覗くことで簡単に羽根の状態を確認することができます。



何かの用事で吸水槽の水替えを行うことがあれば、忘れずに確認してみてください。

○問い合わせ先 宮城県農林水産部農村整備課 水利施設保全班 TEL 022-211-2876
HP <http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/nosonseisutok1-1.html>
宮城県土地改良事業団体連合会 管理指導部 TEL 022-263-5812